

令和5年年頭所感



参議院議員・薬剤師 本田顕子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新たな年を迎えられたことと存じます。本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は少しずつ人の往来や人が集う機会が増えてきたように感じますが、依然としてコロナ禍は続いており、マスクをつけての年越しは今年で3回目となりました。その間、会員の皆様におかれましては、処方箋調剤をはじめとする薬剤関連業務に加えて、新型コロナウイルスワクチン接種へのご協力、抗原検査キットの販売・配布及びPCR検査の実施支援等の新型コロナ対策などを通じて、地域にお住まいの皆様の健康づくりや公衆衛生の向上に貢献されておりますことに敬意と感謝を申し上げます。

今年こそはマスクを外して会話をしたいと思っておられるのは先生方も同様と存じますが、季節性インフルエンザの同時流行も懸念されるため、同時検査キットの供給により検査機会を確保することとなりました。限られた医療資源を有効活用し、この冬を乗り越え春を迎えられるようにと思います。

また、処方箋の電子化に伴う体制整備等のご負担も多いと思われませんが、重複投薬や併用禁忌のチェック等がより確実かつ効率的に行われ、薬剤の安全使用につながるよう、導入に向けてのご理解とご協力をお願いいたします。

新春はおかげさまで静かに迎えることができました。

昨年8月の第二次岸田改造内閣におきまして厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官を拝命し、医療・子育て等の厚生行政と新型コロナウイルスワクチン接種推進を担当させていただくこととなりました。通常国会では来年度予算案をはじめ国民生活に直結する議案が本格論戦されます。大臣政務官として加藤勝信厚生労働大臣を補佐し、薬剤師の先生方の明日の環境整備につなげていけるよう努力してまいります。

結びに、会員の皆様にとりまして本年が実りある輝かしい一年となりますことを祈念申し上げます。新年にあたっての挨拶といたします。